

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2014年11月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第559号

標題の言葉は、紀元前7世紀、ユダの地でエレミヤが神から聴いた言葉として記録されている。神は今も、この日本の地で同じ言葉をもって嘆いていないであろうか。

今この国では、積極的平和主義の名の下で、いつでも戦争をできる体制が整えられている。戦争のために一致団結して協力する体制作りが進められている。戦争のためにより優れた武器の開発が進められている。大学の研究者も武器開発に協力するように求められている。一方無謀な景気対策により、国民はひと時の見せかけの繁栄に目をくらませられている。福島原発事故は、偶然が重なった稀な事故として片付けられている。放射能汚染は、恐れるほどのことは無く、すでにほとんど収束されたと言いつつ広められている。原子炉は安全になったので、再稼働させてよいと声高に云われている。

エレミヤは、標題の言葉に先だつて「身分の低い者から高い者に至るまで、皆利をむさぼり、預言者から祭司に至るまで皆欺く」という神の言葉を記している。ここで言う「預言者から祭司まで」とは、今の日本なら、「政治家、経済人から、思想家、宗教家、

識者まで」と読み替えられるべきであろう。

さらにエレミヤは、標題の言葉に続いて「それゆえ、国々よ、聞け。わたしが彼らにしようとすることを知れ。この地よ、聞け。見よ。わたしはこの民に災いをもたらす。それは彼らのたくらみが結んだ実である」という神の言葉を記している。このような歩みは何をもたらすか、その結果



日本クリスチャン・アカデミー代表理事 小久保 正

彼らはわが民の破滅を手軽に治療して、平和がないのに「平和、平和」という

を恐れよとエレミヤは警告している。我々も、今の歩みの結果を恐れなければならぬ。

それ故に私達は、先の福島原発事故が何を語っているか、目を逸らさないで、しっかりと見つめ続けたいと思う。今も13万人の人が、その住む所を追われ、帰れる見込みも立っていない。放射能汚染は、今もまだ留まるところを

知らず広がり続けている。事故を起こした原子炉と、全国54基の原子力発電所から出されて10万年以上も放射能を出し続ける使用済み核燃料棒は、安全に処分する目途も立っていない。これらのことをしっかりと覚えておきたいと思う。これらの事実を目をつ

にした。今回は、政府の総合資源エネルギー調査委員会を務めている、京都大学大学院経済学研究科長の植田和弘先生が、環境経済学の視点から、また世界教会協議会で核エネルギーに関する声明を纏めるために尽力された、立教大学副総長の西原廉太先生が、キリスト教倫理の視点から発題して下さる。

折しも、このフォオラムの第1回で、原子力発電の可能性と問題点を丁寧に解説し、詳細なデータと説得力に富む言葉をもって、我々の子孫の為に原子力発電に別れを告げ、再生エネルギーに傾注すべきことを説かれた、元民間事故調査委員会委員長の北澤宏一先生が9月26日に逝去されたとの報に接した。昨年出版された第1回フォオラムの記録集「原子力発電の根本問題と我々の選択」(新教出版社)は、奇しくも彼の貴重な遺言となった。その真摯な姿勢を受け継ぎたいと思う。そのような地味な歩みの積み重ねを神様が祝福し、災いをもたらさうとの思いを変更して下さることを期待したい。多くの方がこの思いに共鳴し、フォオラムに馳せ参じて下さることを願っている。

(京都大学、中部大学名誉教授)

関東活動センター

●関東フォーラム「宗教対話Ⅱ」
「牧師と読もう！大人に響く絵本」
第2回「いのち・生と死」

日本基督教団千代田教会牧師 太田 春夫さん
2014年9月26日(金)
日本基督教団早稲田教会

第2回目は9月26日に、早稲田教会を会場に開催された。千代田教会の太田春夫牧師が2回目の担当者であるが、テーマを「いのち・生と死」という観点から話された。

太田氏は、その初任地・遠野において、幼稚園の園長という立場と、3人の子育てという実体験を率直に語りながら、具体的な出会いを通じて広がり、そして深まりを得た豊かな絵本の世界を話された。

特に遠野の語り部・鈴木サツ、正部家ミヤ姉妹、福音館書店の松居直氏、その他の絵本作家や編集者との具体的な出会いと交流を通じて深められた学び、そして慰めに満ちたそれまでの歩みを話された。

特に教会員の自死に遭遇した時、その方の葬儀のなかで『マローンおばさん』(こぐま社)を朗読する設定をした時に、それまで頑なに心閉ざしていた人々の心が緩やかに開かれてゆく経験を報告。また

超細密画家の熊田千佳慕氏の作品とエッセー『私は虫である』を紹介しながら、90歳を過ぎて元気だった熊田氏の事や、ユーモアに溢れた生涯を紹介した。また林明子さんの『コンとあき』を用いて、イエスと人間の関係を視点を移し、「大丈夫！大丈夫！」という福音的な意味をも明らかに。

奥深い絵本の世界を探る連続講座の3回目は、11月28日に早稲田教会の古賀牧師が担当。4回目は増田琴牧師が2月27日に再登場の予定である。

第6回 神学生交流プログラムへの
募金のお願ひ

関東運営委員会委員長 戒能 信生

第6回神学生交流プログラムは、2015年3月16-18日、東京都練馬区にある東京黙想の家を会場に実施されます。今回の講師はカトリック真生会館理事長森一弘司教

校長は昨年に引き続き関田寛雄牧師です。このプログラムは、2009年から始められ、日本基督教団の各神学校だけでなく、カトリックや聖公会、その他の教派の神学生たちが集まり、教派や神学校の枠組



みを越えて出合い、学び合い、交流する機会を提供するものです。これまで、日本カトリック神学院、聖公会神学院、西学院大学神学部、日本ルーテル神学校、日本キリスト教

会神学校、そして関西学院大学神学部、同志社大学神学部、日本聖書神学校、農村伝道神

学校などから原則として2名ずつの神学生が送られて来ています。一種の閉塞状況にあるこの国のキリスト教界において、ここでの出会いの経験が、将来どのような稔りを結ぶのかに期待しています。なおこのプログラムに要する費用は、すべて献金によって成り立っており、昨年から各神学校にも賛助をお願いします。ご協力をよろしく願ひします。

関西セミナーハウス

<修学院きらら山荘>

～四季折々の自然に囲まれた、静かな環境～

各種セミナー、会議、合宿、修養会、ご宿泊、会食などにご利用ください。個人様でもご利用いただけます。比叡の天然水を使用した、お風呂、お料理、コーヒーもお楽しみください。

茶室「清心庵」では、呈茶、貸茶室承ります。能舞台もごございます。無料駐車場完備。



関西セミナーハウス活動センター

●修学院フォーラム「社会」第1回
「科学者の原罪と社会的責任——福島原発事故の本質」

京都大学名誉教授 政池 明さん
2014年11月1日(土)



今回の演者は、長年京都大学で基礎物理学の研究に従事してきた日本を代表する研究者である。基礎物理学は、原子力工学の基礎をなす学問である。しかし、演者は原子力発電に全く係ってこなかった。これは、日本の原子力発電発足時に、国の原子力委員会が正力松太郎委員長が基礎研究などしなくてよい、外国から輸入すればよいと発言し、これに反発した湯川秀樹氏が委員を辞任したことや、東大総長の矢内原忠雄氏が、

基礎物理学の研究を原子力と切り離して大学等で自由に行えるようにしたことに起因する。以後日本の基礎物理学者は、矢内原ドクトリンに安住して、原子力の危険性を見て見ぬふりをしてきた。その結果、学術会議が原子力基本法に民主、自主、公開の3原則盛り込んだにもかかわらず、それが形骸化し、日本の原子力発電は、秘密裏に、外からの批判を受け付けない形で進められ、今回の福島原発事故をもたらした。

演者によれば、原発は、不安定な平衡状態を総合技術でようやく支えているものである。ほんの一部の不具合で何十万、何百万の人を危険に晒し、人類全体を滅亡の淵に追いやる危険性を有する。しかしこれに従事する技術者

にはその認識が乏しい。今回の福島原発事故は、技術者の技術過信と傲慢によるものである。そればかりではなく、原発は危険な放射性廃棄物を多量に生み出し、人類はこれを安全に処理する方法を未だ見いだしていない。ドイツは、これらの危険性を重く認識し、原発を廃止する道を選んだ。

原発は、人類が制御できる限界を超える装置である。社会の構造も、役所や会社の組織も、複雑な科学技術を適切に使いこなせる体制になっていない。一般市民も、巨大化した科学・技術は、一歩誤ると取り返しのできない事態を招きかねないことを認識しな

ければならない。一人一人が良心のささやきに耳を傾けて、科学の進歩を人類の真の幸福のために使おうとしないなら、人類は科学の進歩によって滅びることになる。この発題を巡って、約20名の様々な立場の参加者が豊かなはなしあいを展開した。



〈協力プログラム〉
金属労協

第46回労働リーダーシップコース

主催 全日本金属産業労働組合協議会
2014年10月6日(月)〜18日(土)

このプログラムの主催団体のJCM(金属労協)は今年設立50周年を迎えた。その初期の1969年に始まり、今回で46回を数えるこ

のコースは、金属労協加盟労組の若手幹部を主な対象として、合宿制による全人格的成長を目指している。関西セミナーハウスにとっても、開所

間もない頃から最も長く関わってきたプログラムである。受講生は、日常を離れて、寝食を共にしながら、学び、考え合い、交流する中で、連帯感を日に日に深めていく。生涯に亘る友人との出会いの場となることも少なくないであろう。初日にはほぼ初対面の参加者が、閉校式では別れがつかないほどの間柄に至るという。これは、人間関係が希薄になっていく現代にあつては、貴重な得難い体験となるであろう。アカデミーの施設としてのセミナーハウスに働く者にとつても、セミナーハウスの存在意義を再認識できる機会となっている。今回は受講生41名の内、7名が女性で過去最多となり、新たな1頁が加わった。



プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**聖書を読む会「あたらしい聖書の学び」**

「イエスの世界の女性たち」(全 10 回)

講師：山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：⑧ 12 月 9 日 ⑨ 2015 年 1 月 13 日 ⑩ 2 月 10 日、火曜 18:30 ~ 20:00

会場：早稲田奉仕園スコットホール 2 階 222 号室

参加費：1,200 円 / 学生 500 円

共催：早稲田奉仕園

■**関東フォーラム宗教対話 II**

「大人に響く絵本」第 3 回

講師：古賀 博さん (日本基督教団早稲田教会牧師)

日時：11 月 28 日 (金) 15:00 ~ 17:00

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500 円

■**協力プログラム**

『並木浩一著作集』完結記念シンポジウム

日時：11 月 28 日 (金) 18:00 ~ 20:30

会場：日本基督教団中渋谷教会

主催：並木浩一著作集完結記念シンポジウム実行委員会

参加費：無料

■**今日的課題プログラム**

シンポジウム「徹底して弱さの上に

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

本部事務局

〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 6 F
TEL 03-3207-6198
E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター
〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
E-mail: info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
E-mail: office@academy-kansai.org

立つ—柏木義円の生涯と思想に学ぶ」
基調報告：片野真佐子さん (大阪商業大学教授)

発題：山口陽一さん (東京基督教大学教授)、植木献さん (明治学院大学准教授)、平井和子さん (一橋大学特任講師)

日時：12 月 13 日 (土) 14:00 ~ 16:30

会場：日本キリスト教会館 6 階集会室

参加費：1,000 円

■**関東フォーラム宗教対話 I**

「古典で読む 20 世紀」

第 4 回「S. キルケゴール『現代の批判』」

日時：2015 年 1 月 23 日 (金)

18:30 - 20:30

講師：武田利邦さん (農村伝道神学校講師)

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500 円

◆**関西セミナーハウス 修学院きらら山荘**

■**月釜 清心会**

日時：12 月 14 日 (日)

9:00 ~ 15:00 受付 (1、8 月を除く年 10 回)

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000 円、臨時会費 1,000 円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**協力プログラム**

クリスマス 平和の祈りの集い
~メッセージオラフ・フィクセ・トゥヴェイト氏 (WCC 世界教会協議会総幹事) ~

日時：2014 年 12 月 7 日 (日)

16:00 ~ 17:30

会場：カトリック河原町教会 (京都市中京区河原町三条上る)

事前申し込み不要。

席上献金があります。

主催：「平和の祈りの集い」実行委員会

■**開発教育セミナー**

2014 年度第 6 回「ベトナム戦争後のベトナムと日本の原発輸出」

講師：伊藤正子さん (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授)

日時：2014 年 12 月 13 日 (土) 16:00 ~ 14 日 (日) 12:00

会場：関西セミナーハウス

参加費：10,500 円 (1 泊 2 食込)

■**修学院フォーラム「エネルギーを考える」**

第 3 回「原発、この避けて通れない課題とどう向かい合うか」

「原発の安全性、経済性、倫理性」

講師：植田和弘さん (京都大学大学院経済学研究科長)

「あらゆる核から解放された世界の実現のために — 世界の教会が大切になっている視点とは —」

講師：西原廉太さん (立教大学副総長)

日時：2015 年 1 月 11 日 (日) 16:00 ~ 12 日 (月祝) 16:00

会場：関西セミナーハウス

参加費：一般 13,000 円、学生 5,000 円 (1 泊 3 食込)

■**修学院フォーラム「いのち」**

第 2 回「福祉とスピリチュアリティ — 社会福祉の根源にあるもの」

講師：木原活信さん (同志社大学社会学部教授)

日時：2015 年 1 月 24 日 (土)

13:30 ~ 17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：2,000 円、学生 500 円

賛助会費・寄付金報告

2014 年 9 月 1 日 ~ 2014 年 9 月 30 日
(順不同・敬称略)

◆**財団本部**

寄付金

日本基督教団早稲田教会 25,000

◆**関東活動センター**

賛助会費・後援会費

林 秀雄 5,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

小林 裕一 5,000

井上 和子 10,000

角 多平 5,000

中村 信博 10,000

丸山 まり子 5,000

小澤 妙子 5,000

金山 顕子 5,000

糸原 良禎・由美子 10,000

寄付金

小久保 正 10,000

榎本 栄次 30,000

金山 顕子 1,260

中村 信博 20,000

北野 宗香 3,000

◆**関西セミナーハウス**

金属労協 第 46 回労働リーダー

シップコース修了生一同

・体脂肪計付ヘルスメーター 2 台

・ジェンガ 5 セット

以上、感謝をもってご報告申し上げます。